

# 「地域の感染レベル」が2になりました。

## 「地域の感染レベル」が2になって変わること

### ①健康状態の把握【レベル3地域・レベル2地域】

★児童生徒等本人のみならず、家庭への協力を呼びかけ、同居の家族にも毎日健康状態を確認するようにお願いします。

→健康観察カードの同居家族欄を記入する。

★登校時の検温結果の確認及び健康状態（同居の家族の健康状態も含む）の把握を、校舎に入る前に行うようにします。

→昇降口での非接触体温計での検温および健康観察の把握を徹底する。

★児童生徒等本人のみならず、同居の家族に風邪症状がみられる場合には、登校をさせないようにします。

→町教育委員会からの文書(R3. 8. 27付)のとおりとする。

### ②感染リスクの高い学習活動【レベル2地域】

「感染症対策を講じてもなお、感染リスクの高い学習活動」において、★印の特に感染リスクの高いものは、これまでより、「より強力」な感染対策を検討するまで、実施しない。

- ① 各教科に共通する活動として「児童が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」★
- ② 理科における「児童が近距離で活動する実験や観察」
- ③ 音楽科における「合唱、リコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」★
- ④ 図画工作科における「児童同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
- ⑤ 家庭科における「児童同士が近距離で活動する調理実習」★
- ⑥ 体育科における「児童が密集する運動」★や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」★  
(★はこの中でも特に感染リスクの高いもの)

◇屋内で50名以上が集まる活動（学年集会、学年体育等）は原則行いません。ただし、体育館で行う学年の行事や学習等については、前後左右に十分な間隔をとるなどの感染対策を行い、実施する予定です。

## 「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2 m 程度 (最低1 m)	行わない	個人や少人数での 感染リスクの低い活動 で短時間での活動に 限定
レベル2	1 mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取ること	収束局面 ↓ 感染リスク の低い活動 から徐々に 実施	↑ 拡大局面 感染リス クの高い 活動を 停止
レベル1	1 mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取ること	適切な感染対策を行った 上で実施	十分な感染対策を行 った上で実施

### ③休み時間の動線【レベル3地域・レベル2地域】

トイレ休憩については混雑しないよう動線を示して実施。また、廊下で滞留しないよう、私語を慎むなどの指導の工夫が必要。

→手洗い時、トイレ使用時は、廊下に貼っているテープを使って、距離を保つ。